

オリーブの会通信

مجموعة الزيتون

2023年3月20日第28号 (通巻34号)

オリーブの会

大阪府豊能郡能勢町平通101-453

tel/fax:072-737-9454

mail: olivenokai_zejtun@yahoo.co.jp

facebook:oribunokai



パレスチナの「水晶の夜」



2月26日フワラへ入植者たちの襲撃と放火は、ナチスドイツがユダヤ人に対して行った「水晶の夜」*を思い出させる。これは、パレスチナ人による入植者殺害の報復として行われた。この事件は、パレスチナ人だけでなく、ネタニヤフのファシスト政権に反対する世俗的なイスラエル人からも批難が起こり、世界中から非難的になっている。

イスラエル軍と入植者たちによるパレスチナ人の虐殺、家屋の破壊、農地の破壊、土地の収奪はパレスチナの怒りの爆発の中で、繰り返されている。

また、イスラエル内でも、世俗的なイスラエル人を中心にネタニヤフの司法改革に反対する抗議行動が拡大し、ついに空軍パイロットの任務拒否まで至っており、アシュケナジを中心とした世俗イスラエル人が民主主義の否定を行っているとなリ、ネタニヤフ政権の打倒に向かっている。

こうした状況は、ネタニヤフが政権を維持するために、宗教シオニストと手をくみ、世俗右翼シオニストであるネタニヤフは、彼らが望むままにしているためである。かれらは、パレスチナとの共存を否定し、ユダヤ人の祖先が、パレスチナを自分たちの土地にするために、当時のパレスチナに有った王国を消滅させ、そこを神に与えられた土地として、住み始めたのであり、同じように、

パレスチナを消滅させることを望んでいる。そこには、イスラエルとパレスチナが共存することはありえないことである。

当然かれらにとっては、パレスチナとの和平などありえず、中東和平とは、イスラエルとアラブ諸国の正常化にある。それは、中東の唯一の核保有国イスラエルが、イランの核開発によって、その地位が脅かされ、また、イランが各地のシーア派の原理主義とともに、イスラエルへの攻撃を行っているからである。

アラブ諸国は、とりわけ、湾岸諸国は国内に、シーア派の国民がおり、イランの影響力を恐れ、また、スンニー派の宗教的な盟主であるサウジも同様に、イランの脅威におびえており、イスラエルは、これを利用して、アラブ諸国との正常化、安保共同へと進んでいる。アラブ諸国は、自国の利益を第一とすることで、アラブの大義であったパレスチナ解放を棚上げにするものとなった。

2月26日、アカバ会議が米国の肝いりで、ヨルダン、エジプト、米国にイスラエルとパレスチナが参加し、西岸でのエスカレートを抑えるために行われた。パレスチナ内部では、自治政府がこれに参加することへの反対が強かった。その前に自治政府はイスラエルとの治安共同を拒否すると宣言したにも関わらず、米国の後押しで、

オリープの会通信 第28号(通巻34号)

参加した。しかし、これによってイスラエルがエスカレーターを抑えるなど考えられなかったし、ネタニヤフ政府は、この会議での合意を一切無視した。

パレスチナ諸党派は、武装闘争を含む抵抗闘争を強化することを訴えた。そして、旧来の既成の党派こえて、ライオンズ・デンなどの武装グループが登場し、また、各地で武装グループが形成され、共同しつつある。イスラエルのジェニンやナブルスへの攻撃は、新たな武装勢力が西岸で拡大することを阻止することを目標に進められており、イスラエル軍による攻撃や、虐殺だけでなく、エルサレムと48年内のパレスチナの獄中者の市民権のはく奪、集団的な懲罰の範囲の拡大、パレスチナ人にだけ死刑を適用する法など、なりふり構わず、パレスチナ人の権利を奪おうとしている。また、自治政府がイスラエルに囚われとないっている獄中者、家族への補償金を渡さないために、パレスチナへ渡さなければならない、パレスチナ税収の一部を取り上げたり、釈放されて出てきた獄中者の家を襲い、金や車などを没収するという行為を

行っている。

このような弾圧は、ますます、パレスチナ人の抵抗闘争を拡大していくことになる。フワラの事件は、シオニストの本当の姿を世界中に明らかにするものとなった。宗教シオニストのスモトリッチは、「フワラを一掃せよ」といった。宗教シオニストの本性を示した。あとから「舌禍」とごまかしたが、そこに彼らの本心が表れている。拡大するイスラエルの世俗的イスラエル人たちの闘いも拡大していくことになる。

国際世論も、ネタニヤフ政権の本質を知り、政権への圧力を拡大することになる。

ネタニヤフ政権打倒への流れはすすみ、イスラエル内、占領地での闘争は拡大することになる。

*水晶の夜(すいしょうのよる、ドイツ語: Kristallnacht、クリスタルナハト)とは、1938年11月9日夜から10日未明にかけてドイツの各地で発生した反ユダヤ主義暴動、迫害である。暴動の主力となったのは突撃隊(SA)のメンバーであり、総統アドルフ・ヒトラーや親衛隊(SS)は暴動を止める事なく、傍観者として振る舞った。ナチス政権による「官製暴動」の疑惑も指摘されている。



投稿日時:2023年03月05日 | 11:50 (PFLPのHPより)
ナワフ・アルゼロ

元イスラエル空軍パイロットのヨナタン・シャピラ氏が記者会見で語ったところによると、イスラエル軍は「テロ組織であり、その指導者は戦争犯罪者である」とのことです。シャピラは、「イスラエル軍はテロ組織であり、その指導者は戦争犯罪者である...イスラエル政府は、地域全体を災難に引きずり込むユダヤ人差別主義者である」と主張した。- Agencies - 05/16/2021 - “左翼政党メレッツの元リーダー、ザハバ・ガロンもイスラエル占領軍を攻撃し、「ギャングについて」-Haaretz 8/24/2021、元教育大臣のシュラミット・アロニは入植者を悪人と表現し「はい、我々は悪です」と言った。「私たちがヨルダン川西岸で行っていることは悪の極みであり、他の人々がユダヤ人に行ったことを超えています。」

Yedioth Ahronoth, 11/30/2009.

したがって、今日、私たちは、数百人の入植者がパレスチナの町ハワラに仕掛けたこの恐ろしいシオニストの野蛮な攻撃に直面しており、これは「ポグロム」*のレベルにまで高まっている。多くの人が述べているように、また、大臣や入植者の指導者からハワラを地球上から消し去るという要求がある中で、これを記録し国際機関や団体の手に委ねよう。イスラエル人パイロットのシャピラ氏の証言によれば、同様の証言は何十件もあり、「イスラエル」は犯罪国家であり、イスラエル軍はテロ組織であり、これは「ナクバ」以前からのパレスチナと地域のシーンにおける大きな真実である。「イスラエル」は、歴史と故郷と権利の泥棒がうじゃうじゃいる犯罪国家である。白昼堂々の武装強盗、テロ、犯罪の国家であり、

世界で最も多くのテロと犯罪の将軍や指導者を收容し、保護している国家である。このすべては、データ、自白、文書化された証言が彼らの舌の上にもあり、彼らの口から我々は彼らを非難する。最も重要なことは、このような自白と証言を急ぐアラブ人が、自分たちには“100人のアラブの顔が残っていると考える”ことだ。世界や国連も彼らを非難しなければならないし、彼らの告白さえも法廷に持ち込む必要がある 国際犯罪...！鐘を鳴らし、膨大な量の記録や告白や証言を国際的なフォーラムや法廷に持ち込む人がいるのか...！？

*ボグロムというロシア語は、「破壊させる、暴力的に破壊する」という意味を持っています。歴史的にこの言葉は、ロシア帝国のユダヤ人以外の市民が地元のユダヤ人に対して行う暴力的な攻撃を意味します。ボグロムと分類される最初の事件は、1821年のオデッサにおけるユダヤ人に対する暴動でした。

この発言を過小評価する人はいません。私たちは、あらゆる国際的な法律や法制の外にある、最大かつ最も危険な国に直面しているのですから...。私たちは今日、この偉大な事実を記録する質的な追加を行い、シオニスト一味が民族浄化、虐殺、大量移住を実践したように、最も凶悪な虐殺と絶滅、史上最大の武装強盗に関する自白を記録している。そして、パレスチナ人全体に対して、として、故郷、土地、都市、町、村、農場、家族、あらゆる種類の個人の持ち物にいたるまですべての財産を武装強盗したのである。

この大きな事実を踏まえ、今日目の前にある現状に至るまでの74年以上にわたる「イスラエル」のテロリズムに光を当てることは有益である。シオニスト組織は、パレスチナとパレスチナ・アラブ人に対する公然かつ執拗な戦争を行い、24時間体制で民族浄化政策を実施し、紛争の始まりから今日まで、包括的な戦略的大虐殺を行っている。この戦争は、パレスチナをその海から川まで連れ去る目的で、3種類の絶滅を派生させている。パレスチナのナクバと占領地の祖国で起きていることは、3種類の絶滅のモデルを我々に提供している。文、土地の開拓には記憶の開拓が並行して必要なため、化やフォークロアにおいて、シオニストによるパレスチナにおけるフォークロア表現の盗用や、さまざまな場面での表現形式や民衆の儀式がユダヤ人のルーツであるという主張の説明になる。なぜなら、そのような認識が達成されれば、政治的、道徳的な次元で、説明責任から逃れる唯一の保証となるからである。

これに加えて、占領軍は、パレスチナの地のヘブライ人を通じて、歴史的なパレスチナのアラブの存在の顕在

を消し去るために、特別で危険な種類の戦争を行っており、都市やランドマークの名称は、アラビア語をそのために指定された場所から排除するための導入部に過ぎない。そして、占領はここでアラブ文化をフォークロアや季節の儀式に終始する少数派の文化に変えようとしている。したがって、「ヘブライ人とユダヤ人化は2段階の絶滅であり、一族が始めたものを完成させるものだ。」

そして徹頭徹尾。

まず第一に。聖書のテキストに支えられた完全なシオニストのシーンを優先して、パレスチナ・アラブのシーンをすべて破壊すること。

第二：パレスチナのアラブ性に関するパレスチナ・アラブの歴史的物語を破壊し、“パレスチナはユダヤ人のものであり、父祖と先祖の土地である”と主張する誤ったシオニストの物語を支持して、それを絶滅させる作業。むしろ、絶滅の思想はイデオロギー的なレベルにまで昇華しており、例えば“Amitai ibn Aba”はこう言っていることが記録されています。「ホロコーストの生存者の子孫であるイスラエルのユダヤ人として、わたしは、パレスチナの状況を、イスラエルがパレスチナ人に対する大量殺戮を実行する準備が思想的に整っているホロコースト以前の状況と比較することは、正当化されるだけでなく、必要なことであると信じています。そして、もし私たちが動き、何かをしなければ、このプロセスは600万人のパレスチナ人、そしてそれ以上の流血に達する新たな決定的な段階へと進むでしょう 加えて。イスラエルの政治家たち-クネセットのスマトリッチ議員、ベネット教育相、パーカット・エルサレム市長とその仲間たち-が、イスラエル・パレスチナ紛争におけるいわゆる「決定的段階」に移行し、現状を克服して「恒久平和」を実現しようと訴えています（ちなみにこれはベンヤミン・ネタニヤフ首相の唯一の著書タイトルとなっています。“パレスチナ問題の最終的解決”です）。このビジョンは、スマトリッチ流に言えば、侵略してきたイスラエル人が先住民であるカナン人に対して虐殺行為を行い、呼吸する魂が一人も残らないようにするという『ヨシュア記』から、ラビ・マイモニデスの人物像を引用しています。ミドラシュによると、このプロセスには3つの段階があったという。まず、ヨシュアはカナン人に手紙を送り、逃げるように勧める。次に、残った者は、下位の市民権という地位とその奴隷化を受け入れることができる。最後に、もし彼らが抵抗すれば、絶滅させる。スマトリッチ

オリーブの会通信 第28号(通巻34号)

はこの計画を、紛争の決定的な局面への必要な移行として公に提示した。

21世紀を迎えた今日、シオニストの大量虐殺テロ思想は、その実行において21世紀の道具を使い、包括的な社会思想へと進化している。イスラエルの著名な作家であるコビ・ネフ氏は、Haaretz 6/3/2020にこう書いている。「多かれ少なかれ残忍な方法で、パレスチナ人の人々の継続的な抑圧(または絶滅または消去)は、実際にはすべてのシオニスト政党の統一プログラムであり、これはすべての種類のスローガンの下にある - “分離” “分離” “統一エルサレム” “二つの状態” “入植地ブロック” “パンチの継続” を。このナンセンスな言葉の意味はひとつ、パレスチナ人への抑圧を「少なくとも今後100年間は」続けるということであり、彼はこう付け加えている。「ハンマーをいつも手に持っている人は、誰でも、あらゆる問題を釘に見立てる。」 だからこそ、将軍たちは、攻撃、嵐、侵略、殺害、破壊の方法しか知らないのだ。ガantzやヤアロン・ファウソして権力に居るのは、誰でもやることである。何故ならこれが彼らの知っている唯一のことだからだ。

このような背景から、シオニスト・テロリストのジェノサイド・イデオロギーについて語る文書や文献は数多くありますが、占領軍は、「パレスチナ人の存在との闘いが根源であり基礎である」というイスラエルの政治・治安上のコンセンサスを考慮して、この包括的ジェノサイドを実行し、国民とパレスチナ人の原因に対して24時間体制のアプローチを続けています。駆除には3つの形態がある。

第一のジェノサイド:-人間-血の-移動、これはシオニストのテロ組織がナクバ以前とナクバ中に大量虐殺と大量移動で開始し、占領軍とその情報機関によって今日まで継続されている。そしてこれは、敵が実施し続けている民族浄化政策の枠組みの中で、“この国にいるのは我々か彼らか”という戦略を採用したグランドプランの中で行われている。

第二のジェノサイドである。政治的・法的・人権的な戦争であり、あらゆる国際的・メディア的・文化的プラットフォームを通じて、また米国や欧州連合諸国の影響力のあるシオニスト・ユダヤ人口ビーを通じて、正当な政治を排除することを目的とした心理的・道徳的な戦争と国際メディア・政治的・文化的キャンペーンを展開しています。パレスチナ人の法的-人権的要求 そして世紀

の取引は、この文脈におけるシオニストとアメリカの企みに他ならず、この絶滅には、パレスチナ・アラブの大義と要求と権利を完全に破壊することを目的としたシオニスト、アメリカ、ヨーロッパ、その他のプロジェクトとマップの長いシリーズが含まれています。トランプ米大統領が発表した世紀の取引に至るまで。

第3のジェノサイドです。これは最も危険なジェノサイドであり、その内容は、このエンティティ(最近では湾岸諸国などの一部のアラブ系知識人、メディア関係者、政治家もこれに加わった)が、パレスチナにはアラブの根、歴史、文明、遺産、様々なランドマークがあるという事実で表される真実とパレスチナ史物語に対して包括的ジェノサイド戦争を行っており、“パレスチナがユダヤ人、父と祖父の土地”とする小説シオニズムに置き換えられるというものである。

私たちは、この重要な文書が可能な限り幅広い国際機関、組織、団体に届き、「イスラエル」に対する起訴状を形成し、運命の日が来たときに国際犯罪に持ち込むことができるように、彼らの手にある文書のリストに加えられることを望んでいる...。私たちは、アラブ人と世界の祖父がいれば、この日-審判の日-はすぐに訪れると楽観視している...!



スモトリッチ財務相↑

ベン・グヴィエール国内治安相↓





投稿日：2023年03月01日 | 10:41 (PFLPのHPより)

ガッサン・アブナイム

占領軍がハマラとパレスチナの祖国で犯したこと。このエンティティ（シオニストの実存体、イスラエルの事）が経験している構造的、ファシスト的、宗教的シオニスト的危機の深さの実際の表現であり、新自由主義者やオスロ知識人が宣伝しようとしているように、危機がイタマル・ベン・グヴィールやスモトリッチ、ネタニヤフという人物に関係しているというのではなく、危機はこれらの流れを権力者にした選挙民の社会構成と関係しているということである。

そして、占領軍はパレスチナの土地（ゴミ捨て場）をその内部の危機とみなしているため、それを回避しようと、キャンプ内外での同胞へのさらなる弾圧と虐待、土地の没収、入植地の新しい前哨地（9つの新しい前哨地）、9500戸の新しい建設、実行犯に対するファシスト法の制定、国籍剥奪、拘束運動の開始などを始めた。このことは、私たちがファシスト、人種差別主義者、宗教家、シオニスト政権に直面していることを示している。彼らは占領政府の命令で殺戮と虐待を行い、沈静化の試みを拒否しています。ベン・グヴィールはヨルダンで起こったことはヨルダンにとどまると述べ、スモトリッチは起こったことは自分に関係なく、命令は自分から出されたと考え、外相はパレスチナの都市を戦車と飛行機で爆撃するよう要請し、ネタニヤフが入植は止まらないという発言をしました...

政治的狂乱状態は、パレスチナ人の国境にとどまらず、いわゆる世俗的・宗教的ユダヤ人勢力の残党を攻撃し、政府に圧力をかけてファシスト法を制定させ、パレスチナ人を消滅させ、パレスチナ人とのすべての条約と合意を放棄するところまで追い込む政策を採用し、その内部構造にまで及んだのです。占領軍の治安維持代理人であるパレスチナ自治政府を含め、これらの方針に反対するすべての政治家に死の脅威を与え、Shin Betの責任者が反対派の責任者に通知するよう促した。特に、司法

機関の基礎を改正するという現政権の政策に抗議して、クネセト前での一連のデモや座り込み、道路の封鎖が行われた後では、ラビン暗殺よりも厳しい暗殺計画がある、と。という発言は、危機を深め、暴力で危機を解決しようとする元シオニスト指導者を促し、オルメルトが述べ、ベネットリ・ベネットに内戦を警告させ、そしておそらく最も明白な発言は、エンティティの代表であるヘルツォークが言ったことです。歴史上起こったように、エンティティは崩壊の瀬戸際にある、と。

これらの出来事はすべて、治安当局がネタニヤフ首相に内部沸騰を止める必要性を警告することを促した。外的なレベルやパレスチナ人に対する抑圧や虐待の事例については、エンティティ政府はパレスチナ人の状況を落ち着かせるための国際的な要求に対して何の反応も示さず、これらの訴えはすべて耳に入らないままであった。このファシスト国家は、兵士のノックの音しか聞かず、ファシスト政策を続けている。

内部危機の深さとパレスチナ人民の軍隊が繰り広げる武力対決の質的発展；それはエンティティ内の一部の政界の懸念を促しただけでなく、外国パスポートの需要の増加、多くの首都の実体からの離脱の試み、モルデカイ・カハネ*が率いるような運動の出現；彼の出発を求める声と軍隊の階級における予備役への不服従の状態の出現をもたらした。

*ニューヨークで殺害された「カハ」運動の指導者、ラビ・メイア・カハネの甥であるモルデハイ・カハネは、イスラエル軍の准将であり、国境警備の司令官などを詰めていたが、昨年に軍の規律に反して、武器を大量に保管していたとして、その地位から解任された

シオニスト・エンティティが経験しているこの苦しい現実と、それを苦しめている政治的・社会的恐怖の状態。それは、すべての国家民族勢力、組織、個人に課せられている。最も広い民族戦線を形成し、占領との闘いと対立の炎を高め、パレスチナ各地から一掃する計画とプログラムを敗北のプロジェクトに変えることである。

公然たるシオニストテロリストに見る ナブルスの虐殺。。。



投稿：2023年2月25日 | 11:32 (PFLPのHPより)

ナワフ・アルゼロ

2023年2月22日(水)の朝、ナブルスで占領軍がわが国民に対して行ったこの恐ろしい大虐殺は、11人の殉教者と100人以上の負傷者を出したが、これは最初でも最後でもない。パレスチナの場面では、実際には端から端まで、時間の経過とともに戦争犯罪を犯す犯罪者やテロリストを見るだけである。この時間は、すべてのパレスチナ人に対するものであり、すべてのパレスチナの場所での襲撃、逮捕、暗殺、個人的・集団的な虐殺であり、この虐殺はシオニスト犯罪の文脈の中の1つに過ぎない。彼らは国を占領し、土地、歴史、遺産をユダヤ人化し、パレスチナ・アラブの存在と権利の破壊、妨害、廃止の戦争を続け、これらの権利に関連するすべての国際決議を拒否し、国際社会と国連のパレスチナとアラブの主張と方向性をすべて拒否しているためです。

これに加えて、ますます存在感を増しているパレスチナの場面では、占領軍と植民地支配者が到達し、歩き回り、大混乱をもたらし、破壊し、ユダヤ人化し…。そして、ユダヤ人テロリスト入植者の一団は、軍の保護の下、土地、農民、パレスチナ人のオリーブの木に対して、24時間、狂乱の戦争を繰り広げている…。彼らは、パレスチナ産オリーブの季節を切り、破壊し、燃やし、盗み、破壊する…。そして、土地と木の所有者を殺す…。

エルサレムでは、シェイク・ジャラ、シュアファット、

アル・トゥール、シルワン、バトン・アル・ハワ、アル・ブスタン地区で、彼らは暴れまわり、家を奪い取っています。若者や少年たちは、近隣から近隣へ、家から家へと起こる不均衡な衝突の中で、毎日彼らと対峙している。ハリル・アル・ラーマンについては、恥ずかしげもなく起こったことです。エルサレムで起きていることに劣らず、危険なことなのだ……！。

このように、パレスチナ全域で、破壊工作や破壊的な攻撃、パレスチナ産オリーブの木を燃やし、切り、駆除するキャンペーンが行われているのである。「イスラエルのユダヤ人」であることを認めさせるために…。私たちが膨大な量の連続した出来事や展開から追いかけて、目撃するこれらすべては、大義、権利、未来への希望を終わらせることを目的としたシオニスト戦略計画の枠組みの中で行われます。

このすべてに直面して、私たちの仲間は、占領軍と矛盾しない不動、対立、開放的な犠牲の叙事詩を導いています。このことは、まずパレスチナ人が闘争の優先順位を組み替え、対決の範囲を拡大することを必要とし、それはアラブ列強が朝の引き出しに入るような糾弾声明に満足しないことを必要とする。



シオニストの知覚マップ*と内戦 と「イスラエル」の焼失の可能性

投稿日：2023年02月27日 | 09:50

ワクフ・アブゼロ

「イスラエル」では、ネタニヤフ首相とそのファシスト政権に対する党派的・民衆的なデモや抗議がエスカレートしており、ネタニヤフ首相に対する扇動キャンペーンが激化して、彼の打倒を呼びかけています。ここで、エフード・バラク（元首相）が、Yedioth Ahronoth 12/1/2023 で、こう警告しています。「本当の警告だ... 100万人のイスラエル人はいつ出てくるのだろう？ 闇の政府と対決するために街頭へ...？」と述べています。そして、「終わりから始めよう、闘いは始まっている... これは本当の警告、イスラエルの民主主義の崩壊という確実で差し迫った危険だ」と付け加え、「ベンヤミン・ネタニヤフ政権との既存の紛争は闘いの段階に達し、これは本当の警告、国家に危険が差し迫っていて本当に差し迫っているから」と約束しています。そして、その政治システムの崩壊、悪いことが起こり続けるのは、イスラエル人が黙っているときであり、それは彼らが目を開き、自問する必要がある。そして、たとえ辛くても、重い気持ちで、本当の答えを受け取るのです。

2023年1月11日、さまざまなヘブライ語の情報源が、「イスラエル」が内戦に向かっていることを導き出す一連の発言や脅しに言及した。クネセットの Ofer Cassif 議員の発言。「ラピッド、ガンツ：我々はネタニヤフのファシスト政権に対抗するために団結しなければならない。どちらが具体的な危険をもたらすか、我々は占領さ

れたパレスチナ人の旗を掲げ、ファシスト独裁占領政府に反対する横断幕を掲げて、あらゆる場所でデモを行うだろう。”そして、イスラエルの元首相ヤイル・ラピッドは、ネタニヤフ政権を攻撃しています。「これが民主主義が1日で崩壊する方法だ。」とベン・グヴィールは言う。彼らはトラックを使うだろう。彼は私たちのデモ隊に水を噴霧し、クネセット議員フォーゲルは言う：「ガンツと私は反逆罪で逮捕され、刑務所に入れられるべきである。」我々は彼らに踏みつけられることはありません。ネタニヤフはラピッドにこう答える。「野党指導者が逮捕されないだけでなく、政府閣僚がナチスと呼ばれることもなく、国民が暴動や暴力を実行するように扇動されないのは本当だろうか？」そしてラピッドは再びネタニヤフにこう答える。「ああネタニヤフ、民主主義国家では、国民は踏みにじられないし、司法制度も踏みにじられない。あなたは弱い首相になり、あなたを侮らない過激派のパートナーに怯えて震え、イスラエル国家を崩壊に導いているのです。」クネセット議員ヨレイ・ラハヴは、「右派は野党指導者を逮捕するつもりだ」と言う一方。「ネタニヤフはすべてを売ってしまった。彼は裁判から逃げている。彼は弱く、脅迫され、抑圧的な首相であり、人種差別テロリズムの危険な支持者の団体にコントロールされている。」ラピッド党のメラヴ・コーエン元大臣については、野党を逮捕すると脅し、我々を反逆罪で告発する専制政府に対するデモを呼びかけている。メラヴ・ミケリ元大臣は、大衆に対して、家族や子供たちとテルアビブのハビマ広場に集まり、国民を脅し、地域を焼き

尽くすネタニヤフ一味に対するデモを呼びかける。

ベン・グヴィールについては、ラピッドに「いや、ヤイア」と答えている。「民主主義は、元首相が現政権に反抗したときに崩壊する。彼らはイスラエルで革命を起こし、デモを行い、叫び、ナチスのスローガンやテロ組織の旗を振り、殺人を扇動しようとする。いや、そのためではない」元国防大臣モシェ・ヤアロンはベン・グヴィールを攻撃しています。「テロ支援で有罪判決を受け、現在は国家安全保障大臣として知られるアルカハニが、嘘を言い続けている。犯罪者、ファシスト、腐敗した政府が引き継いだために、この国は渦中にある。この狂気を止めるために、私たちは抗議行動に出ます。」左派のクネセット議員は市民的不服従を呼びかけ、右派のクネセット議員は野党指導者を「祖国への反逆」の罪で逮捕するよう呼びかけた。元クネセット議員のヤイル・ゴラン氏はツイートで「広範な市民的不服従」を呼びかけました。

これらの発言の後、ベン・グヴィール党のクネセット議員、ズヴィカ・フォゲルは言った。「ヤイア・ラピッド、ベニー・ガンツ、ヤイア・ゴラン、モシェ・ヤアロンは、祖国への反逆の罪で今すぐ逮捕されなければならない。彼らは最も危険な人々であり、我々に対する戦争について話している。彼らは私たちを敵として扱っており、これは彼らの逮捕を正当化するものだ。」そして、ベン・グヴィール党のアルモア・コーエン首相府副大臣は、彼を補強した。「ラピッドとガンツが政府に対する扇動と流血への欲求を止めないなら、彼らは逮捕され、足かせをつけられるだろう」。

最後に、イスラエルのヘルツォーク大統領は、政治家たちに「自制と責任を示せ」と呼びかけました。「イスラエル国民にとって、今は敏感で爆発的な時期だ。私たちは精神を落ち着かせ、炎を下げなければならない...。私たちにはもう国がないのだから。」

その2年ほど前に「イスラエル」も燃え上がり、政争や対立がエスカレートしていった。テレム党*の党首でクネセットの議員、元戦争大臣のモシェ・ヤアロンはネタニヤフを攻撃し、ヘブライ・チャンネル7が報じた内容によれば、「イスラエルは今日犯罪集団に支配されており、この集団のトップはネタニヤフだ-2020/07/02(木)」と述べた。そして、有名な作家のアルフ・ベンは、Haaretz 7/30/2020でこう言っている。「ネタニヤフ

はイスラエルに大混乱と破壊をもたらしている」、続いて作家のヨッシ・ヴェルターが、Haaretz 7/30/2020で確認する。「ネタニヤフ首相はイスラエル放火という計画の「重要な段階」に移行している」、コメンテーターのアモス・ギルボアはMaariv 7/30/2020で「イスラエルの第三王国で憎悪が広がっている」と語り、さらにYedioth 7/30/2020でメラブ・バティットが「イスラエルは危険にさらされている」と確認している。このような以前と現在の記述や予想がどこまで正しいか...!? ネタニヤフ首相とその政府は倒れ、歴史のゴミ箱行きになるのでしょうか...!? 「イスラエル」が内部で燃えて崩壊することはあり得るのか...!? 多くの人が警告し、期待しているように「内戦」に向かってしまうのか...!?

*テレム党はイスラエルの政治団体で、主に、ハレディ派のユダヤ人コミュニティを代表している。ユダヤ教の超正統派の一派。兵役に反対している、

この熱いイスラエルの情景を読み、ネタニヤフ首相に対するエスカレートするデモを、社会とシオニスト・プロジェクトの崩壊につながる内戦の始まりかもしれないと読む人もいるかもしれませんが。あるいは、それは、最終的にイスラエルが占領地からの撤退を決定し、利用可能な数十億を自国の危機と経済的苦難の悪化から救うために向けることになるかもしれないが、シオニストの知覚マップとイスラエル世論の地図は、そうではないことを示している。シオニストの知覚マップ*は、シオニスト社会を支配する3つの実存的な懸念の間を弁証法的に結びつけています。「人口問題」、「ユダヤ人国家としてのイスラエルの存在の終焉への執着」、「数百万人のパレスチナ難民の帰還と自決の権利への執着」です。

*知覚マップは、市場分析、製品開発、マーケティング戦略などに活用される製品やブランドなどの顧客にとっての特徴や価値をグラフ上に可視化したもの

したがって、シオニストの指導者や政党は、彼らの植民地計画や戦争・入植政策の背後にある民衆の足並みを教育し、形成し、結晶化することに努めた。そして、独立したパレスチナ国家の設立を許さない...といった具合に、2011年に起こった抗議行動の教訓がここにある...。占領と入植に関するシオニストのコンセンサスでは、当時労働党の指導部を争っていたクネセットの議員、シェリー・ヤチモビッチの証言が、Haaretz 紙2011/08/18のインタビューにあり、そこで彼女はこう語っている。彼女は確かに入植事業を罪や犯罪とは見ておらず、むしろ合意点であるプロセスであるとし、労働党は「パレスチナ地域での入植事業を進めるものであり、

これは歴史的事実である」と付け加えています。「入植者の抗議活動への参加を歓迎する」とし、彼らの参加を「伝統的な政治的スローガンがそこで掲げられるのではなく、新しい言語、皆を団結させ結びつける言語があるという意味で、抗議活動の最も重要な強みの1つ」と考えています。

入植地の代わりにグリーンラインの内側に数十億を投資することについての質問に対して、彼女は言った。彼女は、「入植地がなければ、イスラエルは福祉国家になる...」というこの方程式を知っている。安全保障予算の半分を削減することで、教育への予算を確保する...。しかし、このビジョンは何の関係もない。” 実際、彼女は、入植と安全保障の予算を減らして福祉に向けることを強く拒否し、こう言った。入植地に建設され、一定数の子どもを収容する学校が、同じ費用でグリーンラインの内側に建設され、同じ人数を収容するのですから、これは真実ではありません。

そして、占領... ハイヤームの演説における禁句というタイトルで、アロン・エダンは2011年8月14日のHaaretzに、占領に言及しようとしめない抗議活動の真実を明らかにし、こう書いています。”なぜ抗議は占領という言葉の使用を妨げるのだろうか。

なぜなら、この言葉が発せられると、抗議する人の数が激減し、その結果、深い合意の欠如と破壊的な分裂が生じるため、その分裂によって抗議が党派的な意味で政

パレスチナ日誌

2022年12月18日

- ・ナブルスの南で、入植者によって意図的に轢かれた2人の兄弟が死亡。
- ・ヘブロン北のアルアロウブキャンプでの占領軍との衝突で窒息者。
- ・ラマラの北で、占領軍との衝突
- ・イスラエル警察はハイファのデモを鎮圧し、パレスチナの旗を掲げた3人を逮捕。
- ・ナブルスの南のハワラで入植者たちが市民の車を攻撃
- ・アルアクサで、女性が逮捕され、モスレムの入場制限
- ・ナブルスのアスカルキャンプで家が包囲されたあと、市民とその息子が逮捕された。
- ・刑務所からフランスへ、エルサレムの弁護士アルハモウリの追放

治的になり、その民衆の力が消滅してしまうからだ。”希望的観測にせよ、教義的調査にせよ、ノーによれば、イエスを演繹することは可能であると思われる：もし、国民を分裂させ、それで抗議を害さないために、占領を言うことが許されないなら、占領の仕事は、国民を分裂させ、それで抗議の可能性を害することであるとなるのである。

この占領と入植に関するシオニストのコンセンサスの中で、イスラエルの社会学者イエフダ・シェンハブ教授は、イスラエルの抗議行動の経過を読んで、「それはシオニストのコンセンサスの中の動きである」:『アラブの権威について 48』 05/08/2011, そして、それは「イスラエルとシオニストの全国的抗議行動であり、日を追うごとにイスラエルの旗が増えている テントの上で、反シオニストの抗議はイスラエルで機能していない」と結論付けています。

これが、今のイスラエルの抗議活動の現場でも、大きな真実であるように思います。過激な抗議活動は成功しない。エルサレムやヨルダン川西岸からの撤退について、あるいはパレスチナ独立国家の樹立について、あるいはパレスチナ難民の祖国と疎開先への帰還権について、イスラエルの世論調査が行われたとしたら、その結果はどうなるのだろうか？

確かに、ネタニヤフの植民地支配と人種差別・アパルトヘイトの背後には、極左から極右までのシオニストの大同団結と軍が存在することだろう。

-
- ・アルラムの町で、占領軍との衝突
 - ・114人の入植者たちがアルアクサを急襲、子供が逮捕された。
 - ・ベツレヘムの東、衝突が起こる中で、占領軍はブルドーザーを押収した。
 - ・シュファットキャンプで、3人の青年が逮捕され、商品が没収された。
 - ・ヘブロン北のベイトウマールでの葬儀への占領軍の攻撃の結果、窒息者が出た。
- 12月19日
- ・占領軍は、ヘブロン北の殉教者ムハマド・アルジャバリ家の取り壊しを決定した。
 - ・西岸とエルサレムでの逮捕
 - ・入植者たちは、イブラヒムモスクを旧市、ろうそくを点火した。

オリーブの会通信 第28号(通巻34号)

- ・アルサウィヤの村で、入植者たちは、商店と育児室に放火した。
- ・占領当局は、ジェリコの東の2軒の家を取り壊した。
- ・EUの代表団が、ヘブロン南の占領軍の取り壊しを視察した。
- ・国連：アルハモウリの追放は戦争犯罪である。
- ・入植者たちは、石と爆弾で、バタン・アルハワの住民を攻撃した。

12月20日

- ・占領軍はツクの学生を攻撃した。
- ・ガザ：殉教者アブハミドの栄誉のため席受持の前で大規模なデモを行った。
- ・ヘブロン：占領軍との衝突で呼吸困難者
- ・3日目。入植者はアルアクサを急襲し、礼拝者に制限を行っている。
- ・大統領、アブハミドの殉教の責任は占領当局にある。
- ・西岸での逮捕とベツレヘムでの衝突
- ・イスラエルの国境警備は、50人のパレスチナ人を殺し、4000人を逮捕したことを認めた。
- ・占領当局はシリワンの町で2軒の家を取り壊した。
- ・ベツレヘムで、獄中者アブハミドの殉教を非難するスタンディングが行われた
- ・クネセットは、ベングビール法の第一回読会を承認
- ・ベツレヘムの西、フサンでの占領軍との衝突で、呼吸困難者
- ・ベイト・ウマールの衝突で青年が占領軍の銃弾で負傷。
- ・占領軍は、カルキリヤの東、アズズの町を封鎖した。
- ・ベイトウニアで占領軍との衝突が勃発した。
- ・アルビレの入り口での占領軍との衝突で、呼吸困難者
- ・占領軍は、アブディスの衝突で頭を打たれたあと少年は占領軍に逮捕された。
- ・ヘブロン南で、占領軍は、テント、居住部屋、羊小屋を取り壊した
- ・占領軍は、テントを取り壊し、車を複数罰過した。ヤッタ市とアルムサフェールで
- ・マンスールは、国際社会に、緊急に、真剣に、占領の犯罪と立ち向かうように主張した。

12月21日

- ・西岸で逮捕と捜索
- ・ハマス：占領当局が、殉教者アブハミドの遺体の引き渡しを拒否することは国際法違反である。
- ・民主戦線：アブハミドの遺体の拘束の決定は占領のファシズムを確認するものである。
- ・占領当局は、ワディ・フキンの20ドノムの土地を更地にした。

- ・占領軍は、ナブルスを急襲し、釈放された獄中者を逮捕した。
- ・ベツレヘム：占領軍は、300検問所の近くで、バイクに発砲した。
- ・占領軍はワディ・フキンの市民たちの土地に侵入した。

12月22日

- ・チリ、パレスチナに大使館を開くことを決定した。
- ・占領軍は、ベイトハヌーンの検問所を通ろうとした市民を逮捕
- ・ツバスで全面スト、ナブルスで占領軍によって一人が殉教し、37人が負傷した。
- ・占領軍は、エルサレムで3人の市民を逮捕した。
- ・ベツレヘムの東の、キサン村の5人の青年を占領軍は逮捕した。
- ・ネタニヤフは、ベングビールに死刑の推進に青信号。

12月23日

- ・カフル・カセムでひき逃げ、銃撃攻撃で2人のイスラエル警官が負傷した。
- ・イスラエル警察は、ひき逃げ作戦を行おうとしてということクフル・カセムの若者を射殺した。
- ・数百人のアメリカのラビがネタニヤフ政府をボイコットすることを誓った。
- ・安全保障理事会は、ゴランの国連監視団の任期を更新した。
- ・カフル・カッダムの行進の弾圧で、4人が占領軍の銃弾で負傷し、多数が呼吸困難になった。
- ・アルアクサで青年が逮捕され、旧市街からの追放が決定された。
- ・ナブルスの南と東での占領軍との衝突で呼吸困難者
- ・殉教者マハ・アルザータリさんの遺体が引き渡された。
- ・占領軍は、ドラの町の市民たちを逮捕
- ・占領軍はジェニンの西のいくつかの検問所を設置し、車を押収した。
- ・ジェリコの西で入植者たちが市民の家の間で羊に草を食べさせていた。

12月24日

- ・米国は、西岸とガザへの財政援助を増加させる。
- ・国連は、イスラエルの入植地と取引する会社のブラックリストを発表
- ・西側のカレンダーによるクリスマスがキリスト教会で祝われた。
- ・世論調査：51%のイスラエル人は、新政府の構成に満足していない。
- ・ラマラで拘束されている遺体の返還をもとめるスタンディング

12月25日

- ・エルサレム：オリーブ山クラブが搜索され、3人の青年が逮捕された。
- ・西岸での逮捕と、ジェニン近くでの衝突
- ・数千人のイスラエル人がネタニヤフ政府にデモ
- ・占領軍はガザの北東の市民を逮捕した。
- ・占領当局は、ガザの東の家々や数百ドノムの農地を洪水にした。
- ・入植者は、エルサレム市民の老人を攻撃した。
- ・人権センターは、ガザのクリスチャンが、礼拝の場所に行くのを妨害された
- ・アルアキブ村は211回目の取り壊しをされた。
- ・入植者たちがアルアクサを急襲した。
- ・ヘブロン南で、ヤッタの2人の学生を占領軍は逮捕した
- ・ベンアンドジェリーはイスラエル市場から完全に撤退・ナブルスの入り口を閉鎖し、入植者たちが市の南で、家々を攻撃し車に放火した。
- ・西岸とエルサレムで逮捕
- ・ライオンズ・デン：我々は入植者の車を標的にし、正確にヒットした。
- ・ネタニヤフは、同盟者の同性愛者についての声明を否定し、彼らを防衛するとした。
- ・マガジ墓地の大半が、水門がそこに向かってあけられたため、ダメージを受けた。
- ・占領軍はヘブロン南で工場を取り壊した。
- ・ネタニヤフ新政権が今日就任する
- ・NGOは、ガザへ占領当局が水のダムをガザに向けて開くことを止めるように圧力をかける国際行動を呼びかけ
- ・占領軍は、シリワンの2人の少年を逮捕した。

12月27日

- ・入植者たちは、北部西岸で、車を燃やし家々を破壊した。
- ・クネセツは、ベングビール法の断片化したものを承認した。
- ・西岸での捜査と逮捕キャンペーン
- ・クネセツは、デリ・スモトリッチ法を承認した。この方は、基本法を修正し、犯罪歴のあるシャスの党首が大臣になれるようにするもの。
- ・占領軍は、カランディアの検問所で、遺体返還を求め行進を弾圧した。
- ・シリワン：アルハムらの土地の占有後、緊張と衝突が継続している。
- ・ベツレヘムで殉教者の遺体の返還を求めスタンディングが行われた。
- ・入植者たちは、北部ヨルダン溪谷で、土地に囲いをつくっ

- た。
- ・ガザでアブ・ハミドの遺体の返還を求めるデモが行われた。
- ・ラマラでも遺体の返還を求め行進が開始された。
- ・シンベトは、エルサレムでバスを爆破した実行者を逮捕と発表。
- ・占領軍は、北部ヨルダン溪谷で2台の農業トラクターを押収。
- ・占領軍は、カルキリヤの青年を逮捕した。
- ・ラマラ北西で、イスラエルの特殊部隊が青年を誘拐
- ・占領軍は、葬儀行進を攻撃した後、ヘブロン北、ペイト・ウマルの町の入り口を閉鎖した。
- ・エルサレム：殉教者の遺体の返還を求めデモの占領軍の弾圧で、11人が負傷した。
- ・イスラエル人ジャーナリストが、パレスチナの英雄と表現したことで逮捕された。

12月28日

- ・アルアロウブキャンプでの占領軍との衝突で、負傷者。
- ・クネセツは、ベングビール法を承認
- ・入植者たちは、ヨルダン溪谷の土地の一面を占拠した。
- ・ジェニンの南で、占領軍の銃弾で、市民が負傷した。
- ・イスラエル最高裁は、ホメシ前哨地の撤去に関する決定の延期の要求を否決した。
- ・ヨルダンは、入植者たちがシリワンのギリシャ正教の教会に属する土地を急襲したことを批判した。
- ・占領軍は、占領下エルサレムの少年を逮捕した。

12月29日

- ・ラマラでファタハは、創立58周年を祝った
- ・入植者たちは、ヨルダン溪谷で、彼らが作った小屋に水道を延長した。
- ・占領軍は、西岸での逮捕キャンペーンを開始した。
- ・クネセツは、ネタニヤフが率いる新政府への承認
- ・ハマス：抵抗運動は、ネタニヤフ政府がレッドラインを超えることを許さない。
- ・バイデンからネタニヤフへ、我々は2国家解決に影響を与えるいかなる決定にも反対する。

12月30日

- ・駐フランス・イスラエル大使がネタニヤフ政府に抗議して辞任。
- ・パレスチナ人の家に爆発物を投げ入れた2人のイスラエル兵を起訴した。
- ・占領軍は、アルアクサモスクで4人の青年を逮捕した。
- ・占領軍は、ハワラ検問所を閉鎖し、殉教者アマール・ムツフレのコンボイを妨害した。
- ・EUは、エルサレムの地位と聖地を防衛するように呼び

オリーブの会通信 第28号(通巻34号)

掛けた。

- ・ 占領軍がナブルスの旧市街を急襲し、35人が負傷した。
- ・ 活動家は、テルルメイダの入植者たちによって開かれ道路をブロックした。
- ・ カフル・カッダムの行進の弾圧で、占領軍の金属弾で負傷者が、また、呼吸困難者が
- ・ ナブルスの南、オスリンで占領軍との衝突で負傷者

12月31日

- ・ 中央ガザで、ハマスは、西岸を支持するスタンディングを組織した。
- ・ 占領軍は、ナブルスの西の軍事検問所で、トルカラムの2人の青年を逮捕した。

2023年1月1日

- ・ ジェニンの市民が、ザラタ検問所を通過しようとして逮捕された。
- ・ イスラム協力機構は、国連決議でのパレスチナ防衛を歓迎した。

1月2日

- ・ ジャーナリスト支援委員会：2022年に1003件の報道の自由の侵害があった。
- ・ 入植者たちはベツレヘムの西に、キャラバンを設置した。
- ・ ダマスカス空港へのイスラエルの攻撃で2人の殉教。
- ・ 占領軍は、ヨルダン渓谷のウム・アルジャマルを急襲した。
- ・ エルサレム知事の家がお壊れ、西岸へ入ることの禁止が延長された。
- ・ ガザ、ジャバリアの東の空でドローンがガスをまいた

1月3日

- ・ ジェニンで2人の殉教者の葬儀が行われた。
- ・ 5時間の取り調べの後、シェイク・イクリマ・サブリが釈放された
- ・ ベイト・ウマルで、老女の葬儀をスタン弾で占領軍兵が攻撃
- ・ ジェリコ：入植者たちが、実弾を羊飼いに発砲した。
- ・ 占領軍が集会を攻撃し、6人の市民を逮捕した。
- ・ ジェニンで衝突、西岸での逮捕キャンペーン。
- ・ 過激派、ベングビールが、嚴重な警備のもとアルアクサを急襲した。
- ・ 占領軍は、カイフル・ハリスを急襲
- ・ 占領軍は、投石者に対する新たな銃撃の指示
- ・ ベイト・リマ占領軍の銃弾で7人が負傷し、2人の市民が逮捕された。
- ・ デヘイシャ・キャンプで、子供の殉教者アダム・アイヤドの遺体に大勢が追悼した。
- ・ ベングビールに率いられて入植者たちがアルアクサを急襲

- ・ ベツレヘムの北で占領軍との衝突が勃発
- ・ ジェニンの西、ルマナで占領軍との衝突で呼吸困難者。
- ・ ヘブロン南、ヤッタで占領当局は、5軒の家を取壊し。
- ・ 占領軍はカルキリヤで青年を逮捕した。
- ・ ヘブロンイブラヒミモスクの近くで、子供と2人の女性を占領軍は逮捕した。
- ・ 占領軍は、エルサレムとアルラムで4人の市民を逮捕

1月4日

- ・ 入植者たちが、ナブルスの南の土地を一掃した。
- ・ 西岸での逮捕キャンペーン。
- ・ エルサレムの墓地で、十字架や墓石が破壊された。
- ・ 占領当局は、ガザから発射されたミサイルは、空き地に落ちたと主張。
- ・ 占領軍のカバティヤへの急襲で2人の青年が負傷した。
- ・ 占領軍はナブルスを急襲し、市民を逮捕した。
- ・ 浅慮軍は、ダハリイア自治体の市長と副市長を逮捕
- ・ イスラエル当局は、ネゲブの3軒の家を取り壊した。

1月5日

- ・ シリワンで、占領軍のブルドーザーが、家を包囲し取り壊した。
- ・ アルアロウブの衝突で、実弾で、少年が負傷した。
- ・ 占領軍はアズンの2人の青年を逮捕。
- ・ 占領軍はヘブロンで子供を逮捕。
- ・ ナブルスの南で占領軍は、居住用のテントと羊小屋をとりこわした。
- ・ 40年間投獄されていたカリム・ユネスが釈放された。
- ・ ナブルスで、占領軍の銃弾で、子供が殺された。
- ・ 占領警察は、カリム・ユネスの家族の家を急襲した。
- ・ ベツレヘム南で、入植者たちは、森林の木を植えた。

1月6日

- ・ 米国とイスラエルは、訓練を終えた。
- ・ イスラエル警察は、カリム・ユネスの祝賀を制限
- ・ 占領軍は、アルダハリヤで3台の車を没収した。
- ・ 東方キリスト教会のクリスマスのお祝いのはじまった。
- ・ イスラエルは、ガザと分離するための壁を建設
- ・ ジェリコの衝突で、占領軍によって、少年が頭を銃撃された。
- ・ イスラエルは、パレスチナ自治政府に経済制裁を課した。
- ・ ベイト・ダジャンの行進の弾圧で、負傷者が出た。
- ・ ベングビールが、パレスチナ人獄中者に対する彼の計画を始めた。

1月7日

- ・ 入植者たちは、カルキリヤの東で、40本のオリーブの

木を伐採

・ベングビールとスモトリッチ：我々は、自治政府にさらに経済制裁をかける

・ベツレヘムの南で入植者たちによって攻撃され、市民たちが負傷し、傷だらけにされた。

・数万のイスラエル人が新政府に反対してデモをした、

・マグウイルで入植者たちは、オリーブの苗を破壊した。

1月8日

・占領軍は、イサウィヤのエルサレムの学生の親たちの会議を急襲した。

・イスラエル軍は、南部で突然の演習を行った。

・占領当局は、マジド・アルクルムで商業施設を取り壊した。

・入植者たちは、ナブルスの南で、土地を更地にした。

・規律が強化され、クネセットの議員が面会することが禁止された、ベングビールは、獄中者に対するキャンペーンを開始した。

・入植者たちは、カルキリヤの東で、40本のオリーブの苗を折った。

マサフェールヤッタで、家屋と水道施設の取り壊し通告と工事の停止のキャンペーンが行われている。

・ジェニンの西、ルマナでの占領軍との衝突で、呼吸困難者が出た。

1月9日

・イスラエルの右翼の活動家が、MP アイマン・オデーを襲った。

・ベイト・ウマールでの殉教者アヘド。ハリールの遺体の返還を要求するデモが行われた。

・シェイク・ジャラ地区で占領軍が青年を逮捕した。

・ツバスの北での占領軍との衝突で、逮捕と2人の青年が負傷した。

・占領当局は、ガザの患者への医薬品と治療器具の供給を阻止した。

・占領軍は、ラマラの東で、学生を追い回した。負傷者

・トルカラムの東、アナブタの青年を逮捕した。

・シリワンの町で衝突、青年が逮捕された。

1月10日

・西岸で逮捕キャンペーン

・クネセットは、西岸での非常事態規制の延長を承認した。

・占領軍は、ベイト・ウマールで、7人の市民を標的にした捜査と逮捕キャンペーンを開始。

・アムネスティは、パレスチナの旗を掲げることを阻止するのは、人権侵害である。

・サルフィットの西、カフル・アルディクの町で占領当局は家を取り壊した。

・占領軍はナブルスを急襲し、青年が逮捕された。

・ナブルスで、パレスチナの治安部隊が、政治的逮捕と拘束に反対する行進を解散させたことに各党派が非難

1月11日

・重傷者、西岸での逮捕

・数十人の入植者たちが、アルアクサを急襲

・入植者たちの攻撃で、テルルメイダで子供と市民が負傷した。

・ヘブロンで入植者を刺した青年が純撃された。

・約1万3千人のエルサレム市民が旧市から強制的に追放される脅威に置かれている。

・占領軍は、エルサレムの旧市で2人の青年を逮捕した。

・ヘブロン東、アルパカー地区で、占領軍に2件の家を取り壊された。

1月12日

・ナブルス：占領軍は、ライオンズ・デンの活動家を含む、4人を逮捕したと発表。

・カランディアでキャンプへの逮捕と攻撃で、占領軍の銃弾で殉教者

・占領諜報機関は、エルサレム知事に、西岸に入ることを阻止する決定を手渡した。

・占領自治体は、アルイサウィヤの土地の一面を没収

・バラタとカランディアでは、殉教者アハメド・アブジュナイドとサミール・アスランを追悼した。

・北部西岸に新たなコンクリートの壁を建設している。

・ダヒリヤで、殉教者サマラを追悼する全面スト

・カバティアで占領軍の銃弾で殉教者と負傷者。

1月13日

・カバティアでのイスラエルの侵略による死者は2人となった。

・ジャラズンキャンプへの襲撃で、青年が負傷し、他が逮捕された。

・占領軍は、ジャルクモスの2人の釈放された獄中者を逮捕し、彼らの車を押収した。

・占領軍はツバスの北部、アカバの青年を逮捕した。

・キサンの村で、入植者たちは、家と車を攻撃した。

・ヘブロンで、ジャベール地区の青年を占領軍が逮捕した。

・占領軍は、ツクの町の北の入り口を閉鎖した。

・ベイト・ウマールの衝突で、占領軍の銃弾で4人の青年が負傷し、数十人が呼吸困難となった。

・カフル・カッダムの行進の弾圧で、3人が銃弾で負傷し、数十人が呼吸困難となった。

・アルビレの北の入り口で占領軍の銃弾による青年が負傷した。

Nablus パレスチナの歌

パレスチナ、あなたは魂です (Falastin Ant Alrouh)

モハメド・アサフ



パレスチナ、あなたは魂です
 パレスチナ、あなたは魂であり目です
 パレスチナはあなたの土地のようなものです。
 私たちが会ったあなたの非難についてのパレスチナ
 パレスチナ、私たちは目であなたを犠牲にします
 パレスチナ、あなたは魂であり目です
 パレスチナはあなたの土地のようなものです。

ようこそ、神よ、そしてようこそ... オリジナルと録音された
 この畏敬の念を起こさせるパレスチナ人... 世界で誰が無知ですか?

パレスチナ人、私の名前はカフィです... そしてケフィーヤは私の肩の上にあります。
 そしてその言葉が私の唇に出たら.... 全世界が止まるだろう。

ヘイ、ヘイ、ヘイ、神、ヘイ、ヘイ

パレスチナ人... 私たちはパレスチナ人です
 ナシミ と ナシミア・ヴドワが ナシミ と ナシミア* の土に還る
 彼らがいなくなったとは言わないで... 私の子供たちの腕から。
 家には友達がいる... 私たちは家の友達です

いなくなったなんて言わないで... 異国で、いなくなったなんて言わないで
 彼の傷を癒しましょう... あなたの心、祖国、彼の傷を癒しましょう

* ナシミとナシミアはサウジの方言で使われる俗語で、「友人」または、「同僚」を意味します。人々間の親密な関係を説明するためによく使われる
 歌は、youtube で検索してお聞きください。

モハメド・アサフは、「アラブ・アイドル」の第二シーズンで優勝したことで知られるパレスチナのポップシンガー。1989年ガザで生まれ、その姿は、2016年の映画「歌にのった少年」の主人公として

おいしいパレスチナ

サラタ・ファラヒエ

サラタ・ファラヒエ (パレスチナまたはファーマーズサラダ)

家にあるのがトマトと玉ねぎとミントだけなら、とても美味しいサラダが楽しめます。

トマトとキュウリのサラダは、多くの文化圏で独自にアレンジされていますが、サイコロの大きさからドレッシング、追加食材、ハーブの選び方まで、それぞれ違いがあるようです。

パレスチナ産のものを際立たせる要素をいくつか紹介します。トマトとキュウリの角切りは、乾燥したひよこ豆ほどの大きさで、とても細かく刻まれています。ハーブは生でもドライでもミントを選びますが、あればパセリも散らします。玉ねぎは譲れません。最近ではキュウリも主役になりましたが、基本はトマト、タマネギ、ミントだけです。ドレッシングも、オリーブオイル、レモン汁、塩だけです。

しかし、他の野菜が手に入りやすくなったこともあり、家庭によって、その時々新鮮な食材を取り入れたりすることもあります。レタスを細かく刻んだり、パプリカを入れたり、アボカドやラディッシュを入れたりしています。私の義母は、柑橘系の香りを楽しむために、皮も含めてレモンを丸ごと1個刻むこともありますし、下のレシピでもそのようにします。でも、家にあるのがトマトと玉ねぎとミントだけだったとしても、アラビア料理と一緒に食べれば、とてもおいしいサラダができますよ。

このサラダについて最後にお伝えしたいのは、このサラダはとても寛容であるということです。私は毎週のように自宅でのサラダを作っていますが、決して計量はしません。トマトやキュウリの重さも測らないし、液体も計量スプーンを使いません。その代わりに、冷蔵庫にある新鮮な野菜は何でも使いますし、単に目で見て判断します。以下に寸法と重量を記載しますが、これは詳細な情報を求める人のための出発点としてのみです。でも実際は、自分の直感を信じ、味を確かめながら作る料理なんですよ。



レシピの基本情報

4~6人分

評価・コメント

原材料名

レシピを保存する

完熟トマト1.5ポンド (680g) (スライストマト大2個、ツルトマト4個、プチトマト2~3パイント程度)、1/4インチのダイス状に切る (メモ参照)

ペルシャキュウリ2本 (約12オンス: 合計340g) (1/4インチのサイコロ状に切る)

黄タマネギ小1個またはネギ4本 (1/4インチのサイコロ状に切る) (メモ参照)

ハラペーニョやアナハイムなどの青唐辛子 (お好みで) 1本 (茎、種を取り、みじん切りにする)

レモン1/2個 (両端を切り落とし、種を捨て、皮、皮ス、果肉をみじん切りにする) (お好みで)。

生のミントの葉のみじん切り大さじ3、または乾燥ミントの粉砕品小さじ2

エキストラバージンオリーブオイル 大さじ3杯 (40ml)

絞りたてのレモン汁 大さじ3 (40ml)

ソルト

ディレクション

大きなボウルにトマト、キュウリ、タマネギ、チリ (使用する場合)、レモン (使用する場合) を入れて混ぜ合わせる。ミント、オリーブオイル、レモン汁をよく混ぜ合わせる。塩で味を調え、すぐに召し上がれ。

作り置きと保存方法

トマト、キュウリ、チリペッパー、レモンはみじん切りにして、味付けをせずに密閉容器に入れて2時間まで保存できます。タマネギも2時間前までサイコロ状に切れますが、別の密閉容器に入れて、辛味が強くないようにオリーブオイル大さじ1で和えてください。食べる直前にトマトとキュウリに玉ねぎ、オリーブオイル、レモン汁、ミント、塩を混ぜ合わせる。



宗教シオニストスモトリッチ財務大臣：「フワラは一掃されるべき」と発言



新政権の司法改革に反対して抗議するイスラエル人たち、抗議行動は10週間以上続いている。



ネタニヤフの妻サラが美容院にいるところ、抗議行動者たちに包囲された。



中国の仲介でサウジとイランが国交回復。イスラエルに大きな打撃となった。

今号の内容

パレスチナの「水晶の夜」・・・・・・・・・・1
 プログラム：ハワラ、シオニストの犯罪ファイルを開く・・・・・・・・・・2
 ファシスト宗教シオニストと対抗する統一民族戦線・・・・・・・・・・5
 ナブロスの虐殺・・・・・・・・・・6
 シオニストの知覚マップと内戦・・・・・・・・・・7
 パレスチナ日誌・・・・・・・・・・9
 パレスチナの愛した歌・・・・・・・・・・14
 おいしいパレスチナー・・・・・・・・・・15
 トピック・・・・・・・・・・16



レッド・ダイヤモンド：ガザの名産赤いイチゴ



トルカルム大隊、ラオオンズ・デンに合流